

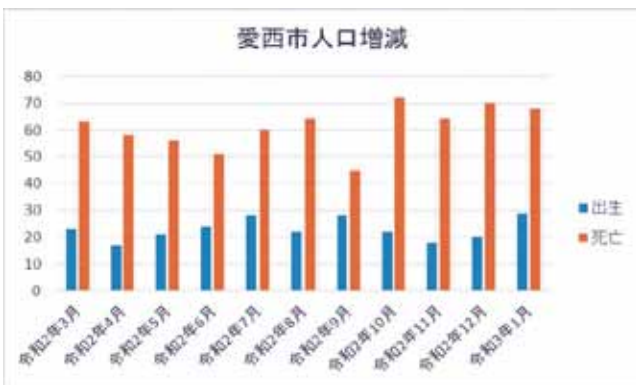
# 調整区域で家が建つ 土地の規制緩和は

山岡 幹雄議員



規制緩和の検証を含め県と協議する

産業建設部長



▲人口減少グラフ

**問** 人口が日々減っている。市の感想は。

**答** 市の大半は市街化調整区域で住宅が建ちにくい区域だが、今後も自然減や社会減の抑制のため、市総合戦略における施策・事業の取り組みを継続的に進める。

**問** 定住人口の確保に市街化調整区域内でも家を建てられる土地利用規制を緩和する考えは。

**答** 対象地域の土地利用

分析と、都市計画に関する課題の解決手法や実施事例の検証を含め、県と協議する。

**問** 内閣府が新型コロナウイルス対応に支援するため、地方創生臨時交付金の総額は。

**答** 市の成立予算で8億414万6千円だ。

昼営業の飲食店に  
協力金の支給を

## 新型コロナウイルス感染症対応地方交付金事業

(単位千円)

事業名	予算額	未執行額
商工業者の冬支度応援事業	100,405	64,920
小中学校GIGAスクール事業	229,508	34,650
プレミアム付商品券補助事業	110,000	3,190
高齢者インフルエンザ予防接種事業	33,151	4,960
修学旅行対策事業	2,570	2,570
その他事業	458,126	70,100
総額	933,760	180,390

▲地方創生臨時交付金表

**問** 地方創生臨時交付金の未執行の総額と事業残金は。

**答** 事業総額は9億3376万円。事業未執行額は決算見込みで1億8039万円だ。

**問** 未執行1億8千万円をコロナ対策として昼営業の飲食店に協力金の支給の考えは。

**答** 議員の提案の事業について、次年度において検討する。

事業総額は9億3376万円。事業未執行額は決算見込みで1億8039万円だ。

議員の提案の事業について、次年度において検討する。